# LA100-PCM-T V2

# 取扱説明書・WindowsNT<sup>®</sup>3.51/4.0 編

# アライドテレシス(株)

この度は、「CentreCOM LA100-PCM-T V2」アダプターをお買い 上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアル は、本製品をWindowsNTのもとで正しくご利用いただくための 手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書と ともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

# 1 概要

# 1.1 特長

CentreCOM LA100-PCM-T V2(以下、本製品と表記)は以下の特 長をもつ PC カード型 LAN アダプターです。

- PCMCIA Release 2.1 および JEIDA Ver.4.2 規格に対応
- データ転送はI/O 方式を採用
- I/Oアドレス、インタラプトの設定が可能 • 10M bps(10BASE-T)/100M bps( 100BASE-TX )の2つの
- 速度に対応 • 動作状態表示 LED 付き接続メディアモジュールが付属
- (RJ-45型 10BASE-T/100BASE-TX 共用ジャックを提供) Auto-negotiation 機能を搭載
- 半2重および全2重通信に対応 ただし、100Mbpsの場合は 半2重のみに対応)

# 1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PCMCIA Type II PCカードスロットを持つ以下のコン ピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ ただし、PC-9801NX/ C. PC-9801NL/R. PC-9801NS/A. PC-9821Neを除く)

## 1.3 **対応**OS

本製品は、以下のオペレーティングシステム(以下OSと表記)で動 作します。

• Windows NT Version 3.51 以上

## 1.4 各部の名称と働き

図1.4.1をもとに本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

LA100-PCM-T V2本体 コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプ ターの機能を提供します。

メディアモジュール接続コネクター メディアモジュール」を接続します。

本体接続コネクター

LA100-PCM-T V2本体に接続するコネクターです。

# 脱着ツメ

メディアモジュールの脱着を行うためのツメです。メディア モジュールの脱着は、必ずこのツメを持って行ってください。

### フェライトコア

電磁妨害を防ぐための部品です。取り付けたままご使用くだ さい。

## メディアモジュール

LA100-PCM-T V2を LAN に接続するためのケーブルです。

# LED

次の 3 つの LED があります。 POWER/TX(緑):LA100-PCM-T V2本体に電源が入ってい るときに点灯し、送信時に点滅します。 LINK/RX(緑):対向機器と正常にリンクが確立されると点灯 し、受信時に点滅します。

100M/FULL: 10Mbps・半2重のとき消灯、10Mbps・全2重の とき緑色に点灯、100Mbps・半2重のとき燈色に点灯します。

# RJ-45 **モジュラージャック**

\_00

UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル を接続す るコネクターです。



J613-M0409-00 Rev.A 980525

-⑧<sup>RJ-45</sup>モジュラ-ジャック

PZ

# MAC **アドレス**

図 1.4.1

本製品のMACアドレスが記載されています。MACアドレス ついては、付録A「MACアドレス」をご覧ください。

# 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場 合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。

# 分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでくださ い。感電や故障の原因となります。また、メディアケー ブルも分解しないでください。

# 稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置など の作業を行わないでください。落雷により、感電する恐 れがあります。

# 静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用してい ます。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネク ターの接点部分などに素手で触れないでください。

# 取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータの PC カードスロットに本製品を取り付け る作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参 注意 く行ってください

# 長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータ のPCカードスロットに入れたままにしないで必ず袋に 入れてください。

# 日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてくださ い。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。 製品の変形、変色の原因になります。

### お子様の手の届かないところに保管して ください

# 高温注意

本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高 熱を発するようになります。ご使用直後はかなり高温に なっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあ ります。

# 警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記されて います。必ずお読みください。

#### シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されて います。同じものが、3枚程同梱されており、パッケージ(外 箱 にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベ ルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証 書」に貼付してください(残る1枚は予備です)。 シリアル番 号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必 要な情報です。



## 1.5 ドライバーディスク

本製品には、下記の2種類のドライバーディスクが付属していま す。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

- AT 互換機 /NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9800/PC-9821 用

WindowsNT 用ドライバーは、WindowsNT Ver.3.51 以上に対応 しており、「¥windows.nt」ディレクトリに置かれています。また、 必ずドライバーディスクに含まれる「README.\*」ファイルをお読 みください。「README.\*」には、このマニュアルに記載されてい ない最新の情報が書かれています。



# 2 取付・配線

## 2.1 コンピュータへの取付け

(1) WindowsNTを終了し、コンピュータの電源をオフにしてく ださい。



(2) 「LA100-PCM-T V2」の文字が印刷された面を上にしてコン ピュータのPC カードスロットに挿入し、本製品をカチッと 手応えがあるまで押し込んでください。



# 2.2 コンピュータからの取外し

(1) WindowsNTを終了し、コンピュータの電源をオフにしてく ださい。

> WindowsNT は活線挿抜(コンピュータの電源が入ったまま PC カードの抜き差しを行うこと)をサポートしていません。本製 品の取り外しは、必ずコンピュータの電源を切って行ってくだ 警告 さい。

(2) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。 本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態 になります。



# 2.3 メディアモジュールの取付け

下図のように、矢印を上にし、コネクターの左右にある脱着ツメ を押さえながら、LA100-PCM-T V2本体のコネクターに「カ チッ」と音がするまで差し込んでください。差し込んだらメディ アモジュールを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してくだ さい。



- (2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してくだ さい。
- (3) UTP ケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッ チ)のモジュラージャックに差し込んでください。手順は、上 記(1)(2)と同様です。

UTP ケーブルの外し方 プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くこ とができます。



#### Windows NT Ver.4.0 インストール 3

本製品のドライバーをWindows NT Ver. 4.0上にインストールす る手順を説明します(ここでは、「ネットワークアダプター用ドライ バーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場 合のインストール手順について説明します)。また、本マニュアル では、Windows NT Ver. 4.0 Workstation を使用し、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答える と仮定します。

# 3.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認くださ い。各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ ヘルプをご覧ください。

<u>Windows NTのハードウェア互換性リスト(</u>Windows NTパッケージに同梱されています )に挙げられていない コンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客 注意 <u>様の責任においてご使用ください。</u>それらのコンピュー タ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポート の対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使 用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や 表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。

本製品のインストールを Windows NT のインストール と同時に行うことは避けてください。必ず、<u>Windows</u> NTのインストールを完了したあとで、本製品のインス 注意 <u>トールを行ってください</u>。Windows NTはPlug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品の インストールを同時に行うと、Windows NT のインス トール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他 のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間 取ることがあります。



Windows NT Φ CD-ROM

たままでカードの抜き差しを行うこと)はできません。本 製品の挿抜を行う際には必ずコンピュータの電源がOFF になっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を 行った場合に起こった障害についてはユーザーサポート の対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

# 3.2 用意するもの

注意

• LA100-PCM-T V2 カード本体、メディアモジュールなど • コンピュータ(Windows NT 4.0 インストール済み)

• LA100-PCM-T V2 ドライバーディスク(本製品付属)

#### 取り扱いは丁寧に 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしな 警告 いでください。

#### 次のような場所での使用や保管はしない でください

・直射日光の当たる場所

- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所
- (結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因にもなります)
  - ・腐食性ガスの発生する場所
  - ・スピーカ付近などの強磁界

# 動作温度と湿度

警告

.

ً

本製品は温度0~55、湿度最大95%(ただし、結露 なきこと)の範囲内でご使用ください。

# 異物を入れないでください

本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでく ださい。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れ があります。



∕ᢓ

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着した ままでコンピュータを運搬するときには必ず付属のケー ブルを外してください。

#### 濡れたカードは使用しない カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災 を防ぐため、絶対に使用しないでください。 警告

この装置は、情報処理装置等雷波障害自主規制協議 会 VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置で す。この装置は、家庭環境で使用することを目的と していますが、この装置がラジオやテレビジョン受 信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。取扱説明書に従って正しい取り 扱いをしてください。



#### 2.3.1

## 2.4 メディアモジュールの取り外し

メディアモジュールの脱着ツメを親指と人差し指で摘みながら引い てください。



#### メディアモジュールに無理な力をかけて引き抜くことは、絶対 におやめください。PCカード、メディアモジュール双方が破 損する恐れがあります。

# 2.5 LAN への接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置など の作業を行わないでください。落雷により、感電する恐 れがあります。

(1) UTP ケーブル<sup>†1</sup> の一方の端に付いたプラグを、メディアモ ジュールのRJ-45モジュラージャックにカチッと音がするま で差し込んでください。両端のプラグのどちらを差し込んで もかまいません。



# 3.3 リソースの確認

Windows NTは Plug & Play をサポートしていないため、本製品 が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に手作業で 設定する必要があります。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値 が、他のデバイスによって既に使用されている場合、重複を避ける ため本製品の使用する値を変更します。設定はドライバーのインス トール時に表示される設定ダイアログで行います。そのために、ド ライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、 重複している場合は空いている値を記録しておきます。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めて あるデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧くださ い。また、「Windows NT 診断プログラム」を使用してリソースの 割り当て状況を確認できます。



- (1) WindowsNTを終了し、コンピュータの電源をオフにして、本 製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワーク(LAN)に接続します。

(3) コンピュータの電源をオンにし、WindowsNTを起動して、

1



(4) 「スタート」「プログラム」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を 起動します。

					÷	I
	-	ንከታችሬው	P	■ 23=1797 ■ 管理?=↓(共通)	É	晟 Windows NT 診断7泊754
uo		最近使った77(ル( <u>D</u> )	,			I 1√2+ ビュ−ア
stati	5	設定(S)	,			アイスリアトミストレージ ディスリアトミストレージ
Nork	Ŵ	検索①	,			👹 ハウォーマンス モニタ
ÉN	4	∿\$7° <u>₩</u>				2-ザーマネージャ ■ リモート アクセス研想
smop	20	ファイル名を指定して実行(B)			1	39 / C T// Claid
Ň	١	ንቀታትያማጋጧ				
A	スタート	Paint Shop Pro		,		

図 3.3.1 Windows NT 診断プログラムの起動

(5) 「リソース」タブを選択します。この段階では「IRQ」(インタ ラプト)の画面が表示されています。

■ Windows N 77イル(E) へいわ	T 診断プログラム - ¥¥FUJI2 (円)	_ 🗆 ×
パージョンシ	ステム ディスフルイ ドライブ 丸川 サービス [99	「環境
		い。 HAL リソースを含める(H) □
IRQ	デハイス	パス 種類
01 i	8042prt	0 ISA
04 5	Serial	0 ISA
10 1	Ploppy	U ISA
14 3	atani	0 154
15	atapi	0 ISA
IRQ0	) //o ポート( <u>T</u> ) DMA( <u>D</u> ) )	モリ(M) デッパス(V)
7	ロパティ(P) 最新の情報に更新(R) 日	印刷( <u>N</u> ) OK

図3.3.2 リソースの表示(IRQ)

IRQの空き状況を確認してください。工場出荷時の値および 設定可能な値の範囲は、以下の通りです。

#### IRQ(AT 互換機 /PC98-NX) 初期設定値 10(A) 設定可能値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

IRQ(PC-9800/PC-9821) 初期設定値 5 設定可能值 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

(6) 「I/Oポート」ボタンをクリックしてください。



図3.3.3 リソースの表示(I/Oポート)

I/Oアドレス(「アドレス」の先頭値)の空き状況を確認してく ださい。工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は、以下 の通りです(AT 互換機 /PC98-NX、PC-9800/PC-9821 共 通)。

- 1/0 アドレス 初期設定値 300 200, 220, 240, 260, 280, 2a0, 2c0, 2e0, 設定可能値
- 300, 320, 340, 360, 380, 3a0, 3c0 (7) 「メモリ」ボタンをクリックします。同様に空き状況を確認し
- てください。

Windows NT 診断プログラム - ¥¥FUJI2 ッイル(F) ヘルプ(H)		
パージョン システム ディスフルイ ドライフ メモリ サービス リル	ス環境	
	HAL リソースを	含める田 🗆
アドレス デバイス FE400000 - FE5FFF. tgiul40 000A0000 - 000BFF VgaSave	パス 0 0	種類 ISA PCI
IRQ@ I/O #"-N(T) DMA(D)	eum 🗟 –	テ°ハ°イス( <u>V</u> )
710ハディ(P) 最新の情報に更新(R) E	間図	OK

- 図3.3.4 リソースの表示(メモリ)
- (8) Windows NT 診断プログラムを終了します。
- 3.4 ドライバーのインストール

- 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネット ワークに接続しない(D)」を選択したとき、このダイアログが 表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネ ルが表示された場合は、既にネットワークに関する WindowsNT ファイルがインストールされています。この場合 は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ 「追加」と進 むと、手順(4)の図 3.4.4 が表示され、本製品のみのインストー ルが始まります。
- (3) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示さ れます。「ネットワークに接続 (W):」にチェックマークを付 け、「次へ (N)>」をクリックしてください。



(4) 図3.4.4が表示されたら、「一覧から選択(S)…」をクリックし てください。



(5) 「ディスク使用」をクリックしてください。



(6) 下のダイアログが表示されますので、ドライバーディスクを フロッピードライブに挿入し、パス「A:¥windows.nt」を入力 し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピー ディスクドライブをA:と仮定します。)



「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を (7) 選択し、「OK」をクリックしてください。

DEM オフ・ション	の選択			$\times$
ハートウェア製	造元のディスクで	サポートされている ソフ	ハウェア を選択してくださ	51.0
samed neter	is cenveccui	ITATUU-POINTY213	an caro	
Г	OK N	キャンセル		
		-		
3.4.7				

「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied Telesis CentreCOM (8) LA100-PCM V2 LAN Card」にチェックマークを付け、「次 へ (N):」をクリックしてください。

【統新期始】を労みするとキャイーク・アラウラの統策を開始します。 使素問題な① キャイワーク アラウラス) マリアン Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card
一覧から選択(2).

- (9) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、 「次へ (N):」をクリックしてください。(詳細はシステム管理 者にご相談ください。)ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみ

(11) メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてくださ (18)「次へ (N)」をクリックしてください。 ι١. ネットワーク タットアッフ・ウィザー



(12) Windows NTのインストール元のディレクトリを指定してく ださい。AT 互換機 /NEC PC98-NX の場合は「I386」、NEC PC-9800/PC-9821 の場合は「PC98」となります。(ここで はCD-ROMのドライブ名をD:と仮定します。)

findows I	NT 27177	×
j.	しくつかの Windows NT ファイルを北ーする必要があります。 セッドライス、次の場所でシィルを検索します。13かの場所を検 素をせたし 場合は、新しい場所を入力し、反行う をかっんてくだ さい。	続行 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	d¥i386	
3.4.1	2	

- (13) 続いて本製品の設定画面が表示されます。
  - 「IRQ Number」(インタラプト)と「I/O Port」(I/Oアドレス) に、他のデバイスと重複していない適切な数値を入力し、 「OK」をクリックしてください。

# Allied Telesis LA100-PCM V2 アダフちカード セットアップ 🛛



(14) ドライバーおよびWindowsファイルのコピーが始まります。 手順(9)で「TCP/IP」を選択した場合はここで「DHCPを使用 するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「い いえ (N)」をクリックすると仮定します。



(15) (14)で「DHCPを使用しない」設定とした場合は「TCP/IPの プロパティ」としてIPアドレスなどの値を設定しなければな りません。下に入力例を示します。これらの値は、お客様の 環境における値を入力してください。



(16) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタ ブをクリックしてください。下に入力例を示します。ここで は、ホスト名として「fuji2」を仮定しています。



# 3.4.16



## (19)「次へ (N)」をクリックしてください。



(20)「次へ (N)」をクリックしてください。ここでば ワークグルー プ(W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシステム 管理者にご確認ください。



# (21)「完了」をクリックしてください。



(22)「はい (Y)」をクリックし、(フロッピーディスクを取り出し て)コンピュータを再起動してください。

ネットワーク	設定の変更
⚠	新しい設定を有効にするには、エビュータを再起動する必要があります。 今すぐエビュータを再起動しますか?
	TING UNIC
34	22

3.5 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、 使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバ イス「LAHPCMV2」にインストール時に指定した値が割り当てら れていることを確認してください。(ただし、表示されるのはIRQ およびI/Oポートのみです。メモリについては表示されませんので ご了承ください。)

		1.0 1.0	HAL 97-23	E含める(H) 「
IRQ 01 04 06 10 12 14	ว้าท¥ว i8042prt Serial Floppy LAHPCMV2 i8042prt atapi		ג'ת 0 0 0 0 0	種類 ISA ISA ISA ISA ISA
	<u>₩</u> <u>₩</u> <u>₩</u> <u>₩</u> <u>₩</u> <u>₩</u> <u>₩</u> <u>₩</u>	DMA( <u>D</u> )	AEU (M)	₹'ハ¥72\ <u>\</u>
	5 <sup>1</sup> 1ハディ(P) 最新の情		印刷(N)	OK

- 🗆 × パージョン システム ディスフ レイ トライフ メモリ サービス リソース 環境 ネットワーク HAL リソースを含める(H) 🗌 バス 種類 ▲

#### 引き続き、ドライバーのインストールを行います。

(1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」と進み、「ネッ トワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



(2) 下のダイアログが表示されます<sup>†1</sup>。「今すぐインストールしま すか?」の問いに対して、「はい (Y)」をクリックしてくださ 11.



をチェックすると仮定します。



(10) 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」をクリックしてくだ さい。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用さ れているかは、システム管理者にご相談ください。



(17) 続いて、「WINS( Windows Internet Name Service )アドレ ス」の設定を行います。下の画面では、「Windows 名前解決 にDNS を使う (N)」を仮定しました。

ት'	レス DNS WINS アドレス ルーティング
w 7	indows ብ/ቃーネット ネーム サービス (WINS)
[	[1] Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card
2	*ライマリ WINS サーハ*ー( <u>M</u> ):
t	オンタリ WINS サーバー(S):
E	2 Immoove_Campanyacu_Lonis_202708/ 2 IMHOSTS 参照を行う(B) IMHOSTS を取り込むの…
,	2q-7° ΙD@λ
-	OK twybu 適用

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に 「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細につい てはシステム管理者にご確認ください。



この画面は Windows NT Workstation のものです。Windows NT Server をご使用の場合はさらに「DHCP リレー」タブがありま す。DHCP リレーについての詳細は Windows NT Server のマ ニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

	0064 - 0064	i8042prt	0	ISA	
	0170 - 0177	atani	n.	ISA	
	01CE - 01CE	VeaSave	ů.	PCI	
	01E0 - 01E7	atani	ň	ISA	
	0300 - 031E	LAHPOMV2	ñ	ISA	
	0376 - 0376	atani	ō	ISA	
	0378 - 037A	Parport	ō	ISA	
	03B0 - 03BB	VeaSave	ō	PCI	
	03C0 - 03DF	VgaSave	ō	PCI	
	03C4 - 03C5	FsVea	ō	内部	
	03CE - 03CF	FsVea	0	内部	
	03D4 - 03D4	FsVea	0	内部	
	03D5 - 03D5	FsVea	0	内部	
	03E0 - 03E5	Floory	0	158	
	IRQŲ	₩ 0 #*-HT DMA(D)	利心	₹°№17.W	
	711/74	(P) 最新の情報 こ更新(R)	ED開(N)	OK	
91	352 11	ーマの確認(いのポー	F)		
_					

## 3.6 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、 例えばPCカードスロットに本製品が挿入されていないとか、UTP ケーブルをメディアモジュールから外しているなどの場合は、ドラ イバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたまま にしておくと、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエ ラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるよう になります。この現象はドライバーをアンロードする(バインドし ないことによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」「ネットワーク」「バインド」と進 みます。「バインドの表示」で「全てのアダプタ」を選択して ください。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックしてく ださい。本製品のアイコンが無効 🕗 アイコンに変わりま

2

す。使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有 効」ボタンをクリックします。

<b>ネットワーク</b> (読別) サービス フロトコル アダフタ パインド <sup>*</sup>	1
ネットワークのパイパとは、このエインーク上にインストールされているネットワークカード フロコル。たビジサイン環の知識をのことです。このパージを使って、ネットワーク のパイパトを選切したり、このコインーがネットワークに情報を検索する。順序 を変更することができます。	
バインドの表示(S): オペてのアタフタ	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	
有効の         無効の         上への         下への           のK         キャンセル         トンセル         トンセル	

### 37 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のと おりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドし ていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例 えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがっ て、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、 サービスなどを使用できます。

- (1) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワー ク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タ ブをクリックしてください。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を選択し、「削除 (R)」ボタン をクリックしてください。



(3)「はい」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場 合は取り出して)コンピュータを再起動します。

警告 この操作はコンホーキントをシステムから削除します。 再度インストールするときは、その前にシステムを再起動してください。 続行しますか? THE LINE 3.7.2

#### 3.8 再インストール

「3.7 ドライバーの削除」を行った後、再びドライバーのインストー ルを行う場合は「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動 し、「アダプタ」タブで「追加..」をクリックしてください。「3.4ド ライバーのインストール」の手順(4)から再開することになります。

#### Windows NT Ver.3.51 インストール 4

本製品のドライバーをWindows NT Ver. 3.51 上にインストール する手順を説明します(ここでは、「ネットワークアダプター用ドラ」 イバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」 場合のインストール手順について説明します)。また、本マニュア ルでは、Windows NT Ver. 3.51 Workstation を使用し、 Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォル トで答えると仮定します。

### 4.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認くださ い。各操作・設定の手順については Windows NTのマニュアル・ ヘルプをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていない コンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客 様の責任においてご使用ください。それらのコンピュー タ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポート の対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NEC PC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールさ れた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、 NEC によって保証されていないインストール環境でのご

• LA100-PCM-T V2 ドライバーディスク(本製品付属)

### 4.3 **リソースの確認**

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品 が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に手作業で 設定する必要があります。そのために、ドライバーをインストール する前にリソースの空き状況を調べます。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値 が、他のデバイスによって既に使用されている場合、重複を避ける ため本製品の使用する値を変更します。設定はドライバーのインス トール時に表示される設定ダイアログで行います。そのために、ド ライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、 重複している場合は空いている値を記録しておきます。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定めて あるデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧くださ い。また、「Windows NT 診断プログラム」を使用してリソースの 割り当て状況を確認できます。

- コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には 「Windows NT 診断プログラム」上に<u>表示されないものがあり</u> YWIndows N1 診断レロノンタンエマルレータのマニュアルと「Windows NT診 ますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT診 注意 断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。
- (1) WindowsNTを終了し、コンピュータの電源をオフにして、本 製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワーク(LAN)に接続します。
- コンピュータの電源をオンにし、WindowsNT を起動して、 「administrator」でログオンしてください。
- (4) 「プログラムマネージャ」 「管理ツール」 「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を 起動します。

•	管理ツール	<b>T</b>	
<u>_</u>	- F120 M2		
		t_2 8	
パックフ	アップ イベント Vin ビューア 診断	dows NT プログラム	
24.3	.1 Windows I	NT 診断ブ	ログラムの起動

(5) 「IRQ/ポートの状態」を選択します。

ー Windows NT 診断ブログラム					
ファイル(F) ツール(T) ヘルブ(H)					
コンピュータ:¥¥FUJI2					
<u> OS バージョン(0)</u>	デバイス( <u>D</u> )				
ハードウェア( <u>₩</u> )	IRQ/ボートの状態( <u>I</u> )				
メモリ( <u>M</u> )	DMA/メモリ( <u>A</u> )				
ドライバ( <u>R</u> )	環境( <u>N</u> )				
サービス( <u>S</u> )	ネットワーク( <u>K</u> )				
ドラ4	ſブ(⊻)				
OS バージョン情報を表示します					
図4.3.2 IRQ/ボートの状態					

(6) 「割り込み / ポート」画面が表示されます。

- 割り込み/ボート				
割り込み				
ベクターレベル 関係 デバイス				
4 4 0x00000000 VDeviceVSerial0				
6 6 0×0000000 Floppy				
12 12 0xFFFFFFF ¥Device¥KeyboardPort0				
14 14 0×0000000 Atdisk				
共有ディスポジション 割り込みタイプ				
未定義 排他的デバイス レベルの区別				
共有 排他的ドライバ ラッチ済み				
#_ b				
物理アドレス 長さ デバイス				
0x170 0x8 ¥Device¥ScsiPort0				
0x1F0 0x8 Atdisk				
0x378 0x3 ¥Device¥ParallelPort0				
Ux3BU UxC #Device#VideoU				
図4.3.3 リソースの表示(IRQ. I/Oポート)				

IRQの空き状況を確認してください。工場出荷時の値および 設定可能な値の範囲は、以下の通りです。

IRQ(AT互換機/PC98-NX) 初期設定値 10(A) 設定可能值 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

IRQ(PC-9800/PC-9821) 初期設定値 5 設定可能值 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

I/O アドレス (「アドレス」の先頭値)の空き状況を確認してく ださい。工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は、以下 の通りです(AT 互換機 /PC98-NX、PC-9800/PC-9821 共

# 4.4 ドライバーのインストール

引き続き、ドライバーのインストールを行います。

(1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブル クリックします。



(2)「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、 「はい」をクリックしてください。





(3) 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT の CD-ROM をドライブに挿入し、Windows NT の配布ファ イルへのフルパス(AT 互換機 / PC98-NX では「i386」、PC-9800/PC-9821では「pc98」となります)を入力します。(こ こでは、CD-ROM ドライブをD:と仮定します。)



(4) 「検出しない」をクリックしてください。



図4.4.4 ネットワークアダプタカードの検出

(5) 「続行」をクリックしてください。



図4.4.5 ネットワークアダプタカードの検出

(6) 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。 「ネットワークアダプタカード(N): 」リストボックスで最下行 の「 < なし > 後でネットワーク インターフェイスを選ぶ」を 選択し、「続行」をクリックします。



(7) 「OK」をクリックします。



Windows NT TCP/IP	組み込み	ォオブショ	ョン	
コンポーネント	ファイル ち	ナイズ:	_	
TCP/IP インターネットワーク ブロトコル		526KB	続行	
□ 接続ユーティリティ(C)		OKB	distant and	
SNMP サービス(S)		125KB	++7211	
○ TCP/IP ネットワーク印刷サポート(P)		61 K B	A/L7*(H)	
FTP サーバー サービス(E)		95KB		
□ 簡易 TCP/IP サービス()		23KB		
	必要な容量	587KB		
	空き容量	65,664KB		
<ul> <li>DHCP 自動構成を有効にする(E)</li> </ul>				
SNMP サービスは、リモート管理ツールを使用してコンピュータをリモート管理できる ようにします。また SNMP は、パフォーマンス モニタを使用して TCP/IP の統計情 報告監視できるようにします。				
449 TCP/IPオプション	の選択			

(10)「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプ タカードの追加(P)」をクリックしてください。

- ネットワークの設定				
(はかのコンボーネントを組み込まない場合には、10KIボタンをクリックしてくだ さい、組み込むとぎは、このダイアログでIPがりかけの追加またはIVかれの追 加を選んでネットワークアダブタまたはソフトウェアを追加してください。選 択したアイテムをカスタマイズするとぎはI構成のを選んでください。				
<ul> <li>★akP-0 Y7k07と79″ア9 カ+ドー</li> <li>組み込まれているネkyO-0 Y7k07と(y):</li> <li>Microsoft TCP/IP ENRI</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクプラクシンTX1</li> <li>アクジェクシンTX1</li> <li>アクシンTX1</li> <li>アクシ</li></ul>				
図 4.4.10 <b>アダブタカードの追加</b>				

(11)「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。 「ネットワークアダプタカード(N)」リストから最下行の < そ の他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」をク リックします。

- ネットワーク アダブタの追加	
ネットワーク アダプタ カード( <u>N</u> ):	統行
<その他> 各メーカーのディスクが必要 €	キャンセル
ネットワークのセットアップでは、コンビュータに組み込 むネットワークダブタカードの種類を指定する必要が あります。ネットワーク アダブタを組み込まない場合 は、「キャンセルルボタンをクリックしてください。	^J⊮7°( <u>H</u> )
4.4.11 ネットワークアダプタの追加	

(12) LA100-PCM-T V2 ドライバーディスクをフロッピーディス クドライブに挿入し、「¥windows.nt」を入力してください。 ここでは、フロッピーディスクドライブを A:と仮定します。

-	フロッピー ディスクの挿入
<i>8</i>	ソフトウェアまたはハードウェア メーカーが提 供しているソフトウェア ディスクを挿入してく ださい。このディスクのファイルがほかのドラ イブやディレクトリなどにある場合は、そのパ スを以下に入力してください。
	A:¥windows.nt
	OK キャンセル
🗷 4.4.12	パスの入力

(13) 「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」が アクティブになっていることを確認して、「OK」をクリック してください。

➡ OEM オブションの選択				
ネットワーク アダブタ ドライバを選択してください。				
Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card				
OK キャンセル ヘルプ (H)				
☑ 4.4.13				

(14) 続いて本製品の設定画面が表示されます。

「IRQ Number」(インタラプト)と「I/O Port」(I/Oアドレス) に、他のデバイスと重複していない適切な数値を入力し、 「OK」をクリックしてください。

Allied Telesis LA100	-PCM V2 アダププタ カード" セット
IRQ Number:	10 👲
1/0 Port:	0x300 ±
Connection Type:	AutoSense 🛓
	キャンセル
図 4.4.14	

(15)「バインド」をクリックしてください。

8の込まない場合には、10Klボタンをクリックしてくだ このダイアログで17ゲアタカトドの追加または17りわけの追 アダブタまたはソフトウェアを追加してください。選 マイズするときは1構成を選んでください。 ・ 、ントを組み込まない場合には、[OK]ボタ こきは、このダイアログでiマがでタ カードの: (テムをガスタマ

aン	0×00000000 Flops 0×FFFFFFF ¥Dev 0×00000000 Atdis	≫ ice¥KeyboardPort0 k	•
	<b>ン</b> 他的デバイス 他的ドライバ	<b>割り込みタイプ</b> レベルの区別 ラッチ済み	

使用は、お客様の責任において行ってください。それらの 環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの 対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使 用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や 表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



本製品のインストールを Windows NT のインストール と同時に行うことは避けてください。必ず、<u>Windows</u> NTのインストールを完了したあとで、本製品のインス トールを行ってください。Windows NTはPlug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品の インストールを同時に行うと、Windows NT のインス トール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他 のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間 取ることがあります。



Windows NT では活線挿抜( コンピュータの電源を入れ たままでカードの抜き差しを行うこと)はできません。本 製品の挿抜を行う際には必ずコンピュータの電源がOFF になっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を 行った場合に起こった障害についてはユーザーサポート の対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

# 4.2 用意するもの

- LA100-PCM-T V2 カード本体、メディアモジュールなど
- コンピュータ(Windows NT 3.51 インストール済み)
- Windows NT の CD-ROM またはフロッピーディスク

- 1/0 アドレス 初期設定値 300
  - 200, 220, 240, 260, 280, 2a0, 2c0, 2e0, 設定可能値 300, 320, 340, 360, 380, 3a0, 3c0
- (7) 次に、メモリの空き状況を調べます。手順2に戻り、「DMA/ メモリ…」を選択します。下の画面が表示されます。

ー DMA/メモリ
DMA
チャネル ボ デバイス
0x2 0x0 Floppy
共有ティスボジション アクセス
本定義 (Files) パイス 読み取り可能 共有 排他的ドライバ まき込み可能
メモリ
物理アドレス 長さ デバイス
0xA0000 0x20000 ¥Device¥Video0
1012
<u>WN</u>

図 4.3.4 リソースの表示(メモリ)

(8) Windows NT 診断プログラムを終了します。

ぞください。 OK キャンセル



(8) ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして 「続行」をクリックします。お客様のネットワークでどのよう なプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相 談ください。ここでは、TCP/IP だけをチェックすると仮定 します。



(9) 手順8でTCP/IPを選択した場合はTCP/IPオプションに関 する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜 設定し、「続行」をクリックしてください。



#### (16)「OK」をクリックしてください。プロトコルスタックが本製 品にバインドされます。



図 4.4.16 プロトコルの選択

(17)続いてソフトウェアの設定を行います。ここではTCP/IPの 場合について説明します。「TCP/IPプロトコル」を選択し、 「構成(C)...」をクリックしてください。



(18) TCP/IPの設定を行います。設定内容についてはネットワー

ク管理者にご確認ください。以下の画面は一例です。設定を 終えたら「OK」をクリックしてください。

-		TCP/	Pの	構成			
ſ	- アダプタ( <u>A)</u> : [1] Allied Telesis Centre	сом	LA100	-PCM	V2 L# 🛓	Ы	ОК
	□ DHCP 自動構成を有効にする(E)					1	キャンセル
	IP アドレスQ:	192	.168	.1	.131		DNS(N)
	サブネット マスクロ:	255	.255	.255	.0		詳細心
	デフォルト ゲートウェイ(型):	192	.168	.1	.32		∿#7°(H)
	プライマリ WINS サーバー(P):						
	セカンダリ WINS サーバー(S):						
	Windows ネットワーク名を解決するため ネーム サービス (WINS) サーバーを使	に、:: 用しま	レビュ す。	-91	オプライマ	υwi	ndows インターネット

図4.4.18 TCP/IP の構成(起動時)

0	DNS の構成	
	ホスト名(N): fuji2 ドメイン名(): abcdef.co.jp	
	┌ ドメイン ネーム サービス (DNS) の検索順序(≦)	HZ rtr
		1
	Fドメイン サフィックスの検索順序(Q)	MZ refe
	j£tor@)→> abcdef.co.jp	1
	OK ++/21/	_
	この一覧 (優先順)は、ホスト名を解決するために使用されている DNS : 指定します。	サーバーを

## 図 4.4.19 DNS の構成(図 4.4.18 で「DNS 」をクリック)

-	Microsoft TCP/IP の詳細構成		
	アダプタ(P) [1] Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LA		
	IP アドレス サブキット マスク アドレス サブキット マスク 192、168、1、131 255、255、255、0 サブキット マスク(5)・		
	77μk γ~-γγx(g). (50m2) → (72,100,1.02)		
Windows ネットワーク バラメータ 図 (Windows 名前解決)こDNS を使用する(E))			
	区 LMHOSTS (ジ券税を行う)() LMHOSTS (ジイ)か - N級) スコーフ* ID(2):		
□ WINS 代理エージェントを有効にする(W) □ IP ルーテレクで有効にする(W)			
	OK 4+7124 (4,714)		
Windows ネットワーク名を解決するためにIDNS の構成19イアログ ボックスで指定した DNS サ ーバーを使用するには、このオブションを選択してください。			

図4.4.20 TCP/IPの詳細設定図4.4.18で「詳細」をクリック)

(19) 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加またはカ スタマイズし、「終了」をクリックします。(詳細はネットワー ク管理者にご確認ください。)

- ネットワークの設定	
ほかのコンボーネントを組み込まない場合には、[OK]ボタンを分 さい、組み込むときは、このダイアログでIPゲアタトドの追加 加を選んでキットワーク アダブタまたはソフトウェアを通加 択したアイテムをカスタマイズするときは損物反を選んでくたさ	- ?リックしてくだ にたは[ソフトウェアの追 ,てください。選 :い。
<ul> <li>マキャワ-ク ソフドウェアとアグ ク かドー</li> <li>組み込まれているキャワ-ク ソフドウェア(W):</li> <li>Alled Telesis CentreCOM A100-ft・ Microsoft TC/P1 年10年</li> <li>アタブサク カード つ追加(S)</li> <li>アダブサク カード つ追加(S)</li> <li>アダブサク カード つ追加(S)</li> <li>アダブウ カード つ追加(S)</li> <li>福坊込まれているアダブタ カード (A):</li> <li>[11] Alled Telesis CentreCOM LA100-</li></ul>	IN*つチ*(度)           オキワーク((t))           オークブ((t))           ヘルレプ(H)

図4.4.21 ネットワークセットアップの終了

場合によってはここで「ネットワークセットアップの警告」ダ イアログが表示されます。この場合は次のように設定し、手 順20 へ進みます。

- 1. 「ネットワークセットアップの警告」で「OK」をクリック
- 2. 「 ネットワークの誤動作 」 で「 いいえ 」 をクリック
- 「ドメイン / ワークグループの設定」で参加するドメイン またはワークグループを設定し(詳細はシステム管理者 にご確認ください)、「OK」をクリック

(20)下の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクドライ ブから取りだし、「コンピュータの再起動」アイコンをクリック



## 4.6 本製品を使用しないとき

ドライパーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、 例えばPCカードスロットに本製品が挿入されていないとか、UTP ケーブルをメディアモジュールから外しているなどの場合は、ドラ イパーをアンロードしてください。ドライパーがロードされたまま にしておくと、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエ ラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるよう になります。この現象はドライパーをアンロードする(パインドし ない)ことによって回避できます。

- (1)「コントロールパネル」「ネットワーク」「ネットワークの 設定」「パインド(B)..」と進みます(図4.4.15~3.16参照)。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをク リックして電球が消えている状態にしてください。

#### 4.7 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のと おりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にパインドし ていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例 えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがっ て、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、 サービスなどを使用できます。

(1)「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネット ワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログ を表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストか ら「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」 を選択し、「削除」をクリックします。

	1.4	I S S S BALAN	
コンピュータ名;	POWELL	変更(0)	
ワークグループ:	WORKGROUP	変更( <u>E</u> )	
[ <sup>ネットワーク</sup> ソフトウ	፲アとアダンプタ カートンーーーー		1
組み込まれて	ているネットワーク ソフトウェア(₩)	:	
Allied Telesi NetBIOS 12	s CentreCOM LA100-P 9-7I17	Yフトウェアの追加( <u>S</u> )	ОК
RPC構成 TCP/IPプロトコ	])l	アダプタカ-ドの追加(P)	キャンセル
<u>  ) L 1-9 ) ;</u>  組み込まれる	//// ているアダプタカ-ド( <u>A</u> ):	■ 構成( <u>C</u> )	パ"インド"( <u>B</u> )
[1] Allied Tel	lesis CentreCOM LA100	更新(U)	ネットワーク( <u>N</u> )
		削除( <u>R</u> )	( <u>H</u> )
説明(T): A	llied Telesis LA100-PCM	V2 アダ"プタ ド"ライハ"	
-			

#### (2) 「はい」をクリックします。

	ネットワークの設定
	この操作はコンボーネントをシステムから削除します。再度 組み込むときは、その前にシステムを再起動してください。 続行してもよろしいですか?
	$(\mathtt{tt})(\underline{Y})$
図 4.7	.2

 (3)「組み込まれているアダプタカード」から「「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」が消えていることを確認して「OK」をクリックします。

J/L 1"745:	POWELL	<u> 変更(</u> <u></u> <u></u> )	
ワークグッループ:	WORKGROUP	変更(E)	
「ネットワーク ソフトウ:	፤ፖとアダンプタ カート		T
組み込まれて	「いるネットワーク ソフトウェア( <u>レ</u>	<u>(</u> ):	
NetBIOS 125	9-7I12	<ul> <li>Yフトウェアの追加(S)</li> </ul>	OK
TCP/IP プロトコ コンピュータ ブラ	ሁ ዓታ"		終了
<u> サーバー</u> 組み込まれて	「いるアダ"プタカード( <u>A</u> ):	▼ 構成( <u>C</u> )	パ <sup>ッ</sup> イント <sup>ッ</sup> ( <u>B</u> )
		更新( <u>U</u> )	ネットワーク( <u>N</u> )
		削除( <u>R</u> )	∿⊮7°( <u>H</u> )
説明(T): Mi	crosoft NetBIOS トランズ		

(4) フロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「再起動 する」をクリックし、コンピュータを再起動します。

ネットワーク設定の変更

ない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブに電源が入っているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本 製品とハブとの接続にば、ストレートタイプのケーブル」を使 用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートの設定を「MDI-X」や「topc」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。次の「3本製品のポートの設定」もご覧ください。
- 2 LINK LED は点灯しているが...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生してい る場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか?ふたつのネットワーク 機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規 定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか? 100BASE-TXを ご使用の場合、UTPケーブルば カテゴリー5」のものでなけ ればなりません。10BASE-Tの場合は、「カテゴリー3」以上 のものが使用できます。また、ケーブルの不良は外観から判 断しにくいため、他のケーブルに交換して試験してみてくだ さい。

# 3 本製品のポートの設定

本製品のボート(RJ-45モジュラージャック)は、「AutoSense」に 設定されており、接続機器との通信速度(10/100Mbps)やモード (Full/Half duplex)は、本製品のAuto-negotiation機能によって自 動的に設定されます。しかしながら、Auto-negotiationをサポー トしていない機器に接続した場合、Auto-negotiation 機能が正し く働かないため、ご使用になりたい状況に合わせて以下のように設 定してください。

WindowsNT Ver.4.0 をご使用の場合、「コントロールパネル」 「ネットワーク」「アダブタ」タブとたどり、「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を選択して「プロパ ティ」をクリックしてください。本製品の設定ダイアログが表示さ れまず(図3.4.13)。「Connection Type」で適切な項目を選択して ください。

WindowsNT Ver.3.51をご使用の場合、「コントロールパネル」 「ネットワーク」をダブルクリックし、「ネットワークの設定」を表示してください。「Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card」を選択して「構成」をクリックしてください。本製品の 設定ダイアログが表示されます(図4.4.14)。「Connection Type」 で適切な項目を選択してください。

- AutoSense(デフォルト) Auto-negotiationを有効に設定します。この項目を選択した 場合、対向装置がAuto-negotiationをサポートしていれば、 可能な最高の速度およびモードとなります。しかしながら、 対向装置がAuto-negotiationをサポートしていない場合、通 信速度のみを検出し、検出された速度のHalf duplex モード となります。
- 100BaseTx 100MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。
- ・10BaseT 10MbpsのHalf duplex(半二重)に設定します。
- ・10BaseT Full\_Duplex 10MbpsのFull duplex(全二重)に設定します。

# A 付録

#### A.1 製品仕様

- 1. ハードウェア仕様 カード規格: PCMCIA Release 2.1/JEIDA Ver. 4.2
- 信号: IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX、 IEEE802.3u Auto-negotiation
- 2. 機械的仕様
  - 外形: カード: 85.6 × 54.0 × 5.0 mm( Type II PC Card )

インタラプト: 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A), 11(B), 12(C),15(F)

### A.2 100/10BASE-T インターフェース

本製品に付属のメディアモジュールは、RJ-45型と呼ばれる モジュラージャックを使用しています。図A.2.1 に、100/ 10BASE-T モジュラージャックの信号線を図示します。



図 A.2.1 RJ-45 モジュラージャック

(1) TX+	送信データ(+)
(2) TX-	送信データ(-)
(3) RX+	受信データ(+)
(4)	未使用
(5)	未使用
(6) RX-	受信データ(-)
(7)	未使用
(8)	未使用

#### A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレス<sup>注2</sup>と呼ばれるア ドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプ ター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユ ニークな)アドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 パイト(48ビット)によって構成され ており、本アダプターの内部に書き込まれているため、ユーザー が変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品裏 面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表 記は全て16進数)。

・ベンダー ID

LAN ベンダー(LAN 用機器を製造しているメーカー)がIEEE に申請することにより得られる識別番号。

通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、 LA100-PCM-T V2は、96から始まる6桁の数値となってい ます。この通し番号と本製品裏面の「シリアル番号ラベル」の 番号に関連はありません。

注2 MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネッ トワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあ ります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IPア ドレスに関係がありますが、これらは別べつのものです。

# B 保証・ユーザーサポート

保証、ユーザーサポート、最新ドライバーの入手方法については、 別紙「取扱説明書・Windows95 編」をご覧ください。

. . . .

### ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもの で、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有していま す。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全 部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部 または全体を修正、変更することがありますのでご了承 ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告 なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 アライドテレシス株式会社

### 商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機 器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

4

#### マニュアルバージョン

1998年05月25日 Rev.A 初版





2 4.4.22

#### 4.5 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、 使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバ イス「LAHPCMV2\*」(\*は番号)にインストール時に指定した値が 割り当てられていることを確認してください。(ただし、表示され るのは「割り込み / ポート」のみで、「メモリ」には表示されません のでご了承ください。)



# 4.8 **再インストール**

「4.7 ドライパーの削除」を行った後、再びドライパーのインストー ルを行う場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動 し、「アダプタカードの追加..」をクリックしてください。「4.4 ド ライパーのインストール」の手順(10)から再開することになりま す。

トラブルシューティング 5

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを 確認してください。

### 1 LINK LED は点灯していますか?

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合 に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。 本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してく ださい。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯し メディアモジュール: 220 × 26 × 21 mm 重量: カード: 30 g メディアモジュール: 25 g

#### 3. 電気的仕様

動作電圧: DC + 5V ± 5% 消費電流: 400 mA (max) 消費電力: 2.0 W (max) 発熱量: 1.66 Kcal/h (max)

#### 4. 環境条件

動作保証温度:0~55 <sup>注1</sup> 保存温度:-20~80 動作・保存湿度:95%以下(ただし、結露なきこと)

注1 本製品(PCカード)の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度で はありません。

 6. 電気雑音の発生防止 雑音端子電圧: VCCI クラス B 雑音電界強度: VCCI クラス B

#### 7.ネットワーク機能 転送速度: 10M/100M bps I/O アドレス: 200, 220, 240, 260, 280, 2a0, 2c0, 2e0, 300, 320, 340, 360, 380, 3a0, 3c0